



東京の産業と教育

No. 167

会の目的

本会は産業界、教育界及び行政当局が一体となって相互に連絡協調し、本都における国公立の中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学および専修学校等の産業教育の改善・進歩をはかり、もって産業経済の自立発展に寄与することを目的とする。

専門高校における外部人材を活用した探究的な学びの充実に向けて

～新たな価値の創造に向けた専門的能力・職業実践力の育成～

東京都教育庁指導部主任指導主事（産業教育担当） 山本 進一



1 はじめに

世界をリードする東京を実現するためには、子供たちが、Society5.0 時代を主体的に生きることができるようにするとともに、新たなイノベーションや価値を創造する人材、DXを推進する人材等の育成が必要であり、これまで以上に学校と社会が協力・連携して取り組むことが重要である。

特に、東京には多様な専門人材や最先端の企業、高度な研究機関など、豊富な社会資源が集積していることから、外部の人的・物的資源を積極的に教育活動に取り入れ、社会とのつながりを深めることができる。

2 都教育委員会の取組

都教育委員会は、令和6年3月に「東京都教育ビジョン（第5次）」を策定した。

同ビジョンに基づき、都立高校の生徒が「チャレンジ精神」「主体性」「創造性」等の資質・能力を育むために、実際のものづくりやビジネス活動を体験する機会を設定し、企業や関係機関等とともに社会課題を解決する探究的な学びを専門高校において推進している。

また、高校卒業後、社会の課題解決に向けて主体的に取り組むことができる人材を育成するため、企業の課題発見・解決力を活用したアントレプレナーシップ教育の推進に向け、意欲ある生徒が参加できる企業連携等を実施している。

(1) 工業系高校

社会の変化や時代の要請に応じたものづくり人材を育成するため、多様な外部専門家として熟練技術者や最先端の研究者等の高度な技術を授業で実践的に学ぶとともに、最先端の技術をもつものづくり企業への訪

問等を行う。また、実践的なデジタルスキルやグローバルスキル育成に向けた資格取得を支援することや、IT関連企業や専門学校との連携により、即戦力となりうるIT人材を計画的に育成している。

(2) 農業系高校

将来の高度な農業人材の育成を図るため、最先端企業や大学等と連携し、大学レベルの研究を実地に学べる仕組みを構築し、データを活用した栽培等を実施し、スマート農業教育を推進している。

(3) 商業高校

実社会でのビジネスに直結した授業の充実を図るため、副教材「東京のビジネス」の活用や、企業や地域と連携して市場調査や商品企画を行う学校設定科目「ビジネスアイデア」の授業を実践している。

(4) 産業高校

生産から販売までを一貫して学ぶことを通じて、伝統工芸や匠の技といった東京の宝物の良さや魅力への興味・関心を高め、将来のものづくりマイスターとなり得る人材を育成している。

3 まとめ

都立専門高校の生徒に限らず、全ての都立高校生の探究的な学びを充実させるためには、専門的な知見を有する企業や大学等との連携や外部人材の活用が不可欠である。今後も、外部の関係機関等の協力を得て、連携の取組を一層充実させることで、東京の産業を担う人材の育成を目指す。

参考 東京都教育施策大綱(令和3年3月)
東京都教育ビジョン(第5次) (令和6年3月)

会報第167号のコンテンツ

- 1p；巻頭言 2p；実践報告 3p；実践報告 4p；在校生からのメッセージ
- 5p；卒業生からのメッセージ 6p；産業界からのメッセージ
- 7p；中学生・高校生の研究発表大会等 8p；産学懇談会・作文コンクール・教育功労者表彰の報告

【実践報告】

高等学校看護教育 60 周年 東京都における 15 歳からの看護教育

愛国高等学校・愛国高等学校衛生看護専攻科 校長 織田 奈美

1 はじめに

中学校卒業を入学要件とする准看護師養成施設として昭和 39 (1964) 年に開始された高等学校看護教育は 60 周年を迎え、現在は北海道稚内から鹿児島県奄美まで 100 校が連携して看護教育を行っております。

平成 11 (1999) 年の指定規則一部改正の際、看護に関する学科を設置する高等学校は「高校 3 年と専攻科 2 年の 5 年で看護師国家試験受験資格を取得する 5 年一貫教育」「高校 3 年で准看護師受験資格を取得する准看護師教育」「准看護師が 2 年で看護師国家試験受験資格を取得する看護専攻科教育」「看護大学等への進学を目指す看護進学教育」「近隣の准看護師養成施設と連携する定時制・通信制の技能連携高校」のいずれかの課程を選択し今日に至りました。

2 学校概要

本校は創立 86 年の女子校で江戸川区北部に位置し、校訓「親切正直」の下で普通科・商業科・家政科（調理師養成施設）、昭和 41 (1966) 年に衛生看護科（准看護師 3 年課程）同 55 (1980) 年に衛生看護専攻科（看護師 2 年課程）を開設し、進学指導だけでなく公的資格取得にも力を注ぎ、社会で活躍し家族に幸福をもたらす女子の育成に努めております。そのため、指定規則改正の際には衛生看護科の 3 年間で准看護師資格を取得し高等学校衛生看護専攻科で看護師を目指す 3+2 の課程を選択し、東京都で唯一の看護高校として医療の充実に寄与する人材を輩出しております。

3 看護高校としての教育活動

衛生看護科は高校生として学校行事やクラブ活動にも参加しながら 3 年間で 1890 時間の専門科目を履修します。高校 1 年生は看護実践能力の基礎として「看護の 3H」、Heart (態度)・Hand (技術)・Head (知識) を学ぶことから始めます。まず校訓に従って行動し、正確な看護技術習得のための実践的な指導を受けて反復練習し、初めて聞く専門用語が並ぶ教科書で知識を深めます。基礎看護として「概論」「技術」「看護と倫理」「患者の心理」、さらに「人体のしくみ」「栄養」「感染」などを

履修、2 年生では「疾病のなりたち」「薬理」成人・老年・母性・小児の各論を学び実技を体得し、筆記試験と実技試験との合格を以て 11 月中旬の「戴帽式」に臨みます。純潔・博愛・高貴を象徴するナースキャップを戴く「戴帽の儀」。看護の心を継承する「点火の儀」。全員で唱和する「ナイチンゲール誓詞」。戴帽生は病院での基礎看護実習を許可され「看護学生」としての第一歩を踏み出します。



3 年生では「保健医療福祉のしくみ」「看護と法律」の座学とともに、夏季休業を除く 5 月から 10 月まで総合病院（複数の診療科病棟）・介護老人保健施設・保育園・特別支援学校などの諸施設で長期の臨地実習を行います。臨地実習は全て対面で行われるため、チーム医療における協調性、より良い看護を提供するための洞察力、コミュニケーション力や表現力、もちろん敬語も不可欠です。看護学生は実習施設の指導担当の方々はもとより患者様やご家族に支えられながら日々成長し、いつかこのご恩を返そう、人の役に立つ看護職者になろうとの気持ちを新たにしておきます。実習終了後は 2 月に東京都が実施する准看護師試験に向けて勉学に励み、途中で夢を諦めることなく伝統の全員受験・全員合格を継続、専攻科に進学して 20 歳で看護師となるべく研鑽に励んでおります。

私ども教職員は生徒が卒業後も長く看護職に携わるようにと、看護の三要素 (3H) の他に 4 つ目の H、Health (心身の健康) の維持向上に努めて参ります。

【実践報告】

第3回高校生ロボットシステムインテグレーション競技会への取組 東京都立蔵前工科高等学校 機械科ロボティクスコース

教諭 増田 泰治

1 はじめに

本校は、令和5年度より校名を蔵前工業高校から蔵前工科高校に変更した。また、令和6年度創立100周年を迎えた工業科高校である。全日制は、機械科(2)・電気科(1)・建築科(1)・設備工業科(1)の4学科がある(数字は学年のクラス数)。また、令和5年度からは、全日制機械科にロボティクスコースが設置され、令和6年度(現2学年)より、機械コースとロボティクスコースに分かれている。ロボティクスコースには、Society5.0を支える工業高校の実現に向けた戦略プロジェクト「Next Kogyo START Project」に伴い、産業用ロボット3台・人協働用ロボット2台・移動式ロボット2台が導入され、更に生徒一人1台の実習装置を使った授業を実現するために、教育用ロボットおよび4軸ロボットアームを各26台、リレーケンス・PLC実習装置も26セット導入され、ロボティクスコース2年生の実習がはじまっている。

2 第3回高校生ロボットSIリーグへの取組

令和6年12月14・15日に愛知県国際展示場で開催された「第3回高校生ロボットシステムインテグレーション競技会(高校生ロボットSIリーグ)」に本校が挑戦した。この競技会は、愛知県が一般社団法人日本ロボットシステムインテグレータ協会等と連携して、「モノづくり現場の自動化を担うロボットシステムインテグレータ(ロボットSIer)の人材創出」を目的に、全国の高校生を対象とする競技会で、令和4年度からはじまった。高校生がロボットSIer企業のサポートを受けながら、約8か月かけてロボットシステムの構築に取り組む競技会である。競技会は、デンソーウェーブやFUJI等のメーカー部門とオープン部門があり、選考の結果、本校はメーカー部門のデンソーウェーブ部門に出場した。競技内容は、人協働用ロボット「COBOTTA」を用いて、ボールペンの上部にキャップを装着し、ボールペンを組立てる基礎課題や2色ボールペンの芯の組立や生産数等をタッチパネル式表示器GOTから入力する等の応

表示器GOTから入力する等の応用課題が出題され、生徒がそのシステム構築に取り組んだ。



ボールペン組立



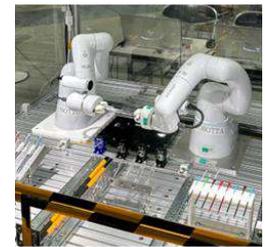
講習を受講している様子

3 取組の経過

競技に挑戦している生徒は、ロボティクス研究部に所属する3年生5名と2年生5名の10名で、3年生は「課題研究」の授業の中でも取り組んだ。産業ロボットの教員向け操作講習を経て、生徒は教員による共通講習やサポート企業(ロボットSIer企業)による基礎課題実習、メーカーによるシミュレーション講習(オンライン)を受講しながら課題に取り組んだ。8月に基礎課題である「4分以内でボールペン組立」のプログラムは完成し、動画を提出した。その後、7つの応用課題に取り組んだ。



実技講習



製作した双腕システム

4 まとめ

競技会では、製作した双腕システムのデモ及びプレゼンテーションを行い、「優秀賞」を受賞した。この競技会への取組を通じ生徒たちは、普段の授業では学ぶことが出来ないと難しい内容に挑戦したが、とても良い経験になったと思う。2年生は来年も挑戦したいと、とても意欲的である。今後も、卒業後の進路選択の一つとして「ロボットSIer」を目標にする生徒を育成できるよう私達自身も生徒と一緒に学んでいこうと考えている。

在校生からのメッセージ INFINITY

西東京市立田無第三中学校
第2学年 小田桐 実葉

私は、普段から心がけていることがあります。それは、相手の気持ちを想像しながら行動することと、周りの人が円滑にことを進められるように自分ができることを考えて積極的に協力することです。

私は、職場体験で美容室に行きました。美容師には、髪を切る技術だけではなく、お客様の喜びや満足度につながるコミュニケーション能力が大切なのだと学びました。

また、家庭科の課題では、弟に喜んでもらえるようなお弁当を作りました。おにぎりをパンダの顔にし、弟の好きなおかずを入れて、弟が喜んでる顔を思い浮かべながら作ることはとても楽しく、弟は大変喜んでくれました。

相手の気持ちに寄り添って行動することは、私が普段心がけていることと似ていたので、心を通わすことの大切さを改めて感じました。

私は今、美術部の部長をしています。先頭に立つということが初めてだったので、不安な気持ちが大きかったです。実際は、指示が通らなかつたり、来ない部員

がいたり、様々な問題点がありました。しかし、協力してくれる部員と丁寧に対応して下さった先生方のおかげで、解決しました。今後は、部員の皆が「美術部に入って良かった。」と思ってもらえるような優しい雰囲気部の部員にすることが私の目標です。

このような経験を通して、私はこれからも自分のことを考えて、相手が喜んでもらえるように積極的に行動し、人とのつながりを大切にしていきたいです。そして、将来は、誰かのために行動し、みんなの笑顔が見られるような職業に就きたいと考えています。



職場体験後の報告書



家庭科のレポート

在校生からのメッセージ INFINITY

東京都立江東商業高等学校
ビジネス科 第3学年 川島 由璃

私は東京都立江東商業高等学校に通っています。本校はビジネス科で、簿記や情報処理、ビジネスマナーなどの実践的なスキルを多く学ぶことができます。

卒業までに取得できる資格も様々あり、多くの資格取得に向けて頑張ることができます。その頑張りが進路活動の際に活かしていると思います。

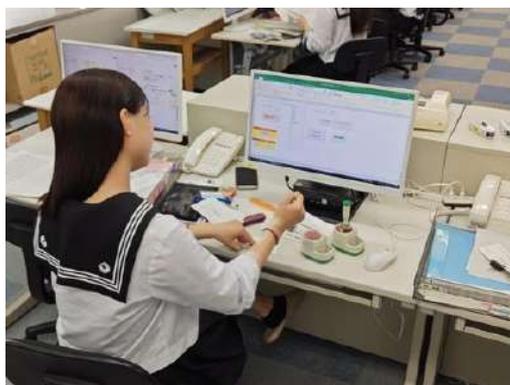
本校では、公務員試験に向けて、1年生から先生の指導を受けることができます。先生方の手厚いサポートのもとで進路に向けた準備が安心して進められています。

部活動も多岐にわたっていて、運動系から文化系までさまざまな活動に取り組むことができます。私は3年間ダンス部に所属し、クラス以外にも幅広く人間関係を築くことができました。多くの部活動の中から、自分の興味や特技に合った活動が選べるのが江東商業の魅力の一つだと思います。

学校行事も部活動・進路に劣らず充実していて、体育祭や修学旅行、文化祭である江商祭が特に盛り上が

ります。江商祭ではクラス全員で協力して準備を進めるため、仲間との絆が深まる貴重な機会となっています。

また、学校はJR総武線亀戸駅、東武亀戸線亀戸水神駅からも徒歩圏内で、通学のしやすさも魅力の一つです。学業、部活動、学校行事のどれにでも全力で取り組める環境が整っているため、充実した高校生活を送ることができると思っています。



総合実践の授業の様子

卒業生からのメッセージ BEYOND

東京都立農業高等学校 令和元年度卒業
フラワーショップ京王つつじヶ丘店 松岡 未唯

都市園芸科では野菜や草花などの栽培を中心に、実践的な技術を学びました。フラワーデザインの授業では、農場や温室で自分たちが育てた花などを利用したアレンジメントなどの制作が楽しかったです。3年生で取得したフラワー装飾技能士の資格が、現在の仕事に活かされています。アレンジメントで花を挿すこと、花束を作る時のスパイラルなどは花屋で必須であり、ある程度の技術を身に付けてから仕事を始めたため、成長スピードが早かったです。



京王グリーンサービスには契約社員から入り、働きな

がらスキルを磨き、年2回実施される技術試験に合格し、3年後社員に昇格しました。現在は店長として、「どのような店にするか」、「自分で作りたいものと売れるものを作ることを意識しています。スタッフをまとめることは難しく、スタッフの得意なことを考え、店舗の雰囲気を作っています。

この仕事は、対面で作った花束などをお客様が喜んでくれるかがすぐに確認でき、その気持ちがわかることです。もしお客様が思い描いている花束が作れない時は、悲しい気持ちになります。作るだけでなく、声掛けや声出しという接客と会話が大切です。

花屋など接客をする仕事を目指す方は、学校行事で人をまとめ、話し合いをした経験が役立ちます。ぜひ、色々な場面でコミュニケーション力というスキルを磨いてほしいです。将来、必ず役に立ちます。

卒業生からのメッセージ BEYOND

東京都立若葉総合高等学校 令和5年度卒業
神奈川大学 理学部 化学コース 山口 千羽

現在私は、神奈川大学理学部の化学コースで学習しています。このような進路につくことができたのも、若葉総合のおかげです。高校3年間、とても充実した日々を送ることができました。

私は高校に入学するまで勉強が嫌いで、高校受験もあまり勉強をしていませんでした。しかし、高校に入学し授業を受けると、今まで学んできたものが異なる教科であってもひとつひとつ密接につながっていることに気づき、勉強をすることが楽しくなりました。2・3年次には総合学科の魅力の一つである、履修する科目を自身で選べる選択科目があったおかげで、理系科目により力を入れて学習することができました。また、科目選択は大学に入学する人なら誰しも経験することなので、高校生時代に先生方に寄り添ってもらいながらこれを行うことができたのは総合学科の大きな魅力だと思います。さらに、「総合

的な探究の時間」で私自身の興味のあることについて調べられたのも良い経験となりました。

私は数学について探究しました。探究を進めていくうちに、私が思っていた以上に数学と化学は密接につながっていると知ることができました。探究と同時に論文を執筆しますが、これも大学に入学した私にとってとても役立ちました。大学に入学しない人にとっても探究する力や文章を書く力は社会に出る人として必要になる力です。現在ほどの高校でも探究に取り組んでいると思いますが、総合学科では以前から行っているため、先輩方の行った探究も参考にすることができます。そのため、普通科などと比べると総合学科のほうがより詳しく探究できると思います。

今という時間を無駄にせず楽しみながら生きていけば、得た知識はきっとどこかで役立ち、力になります。今ある夢をあきらめずに頑張ってください。

産業界からのメッセージ 「企業会員の紹介」

国光施設工業株式会社 代表取締役社長 坂西 章

〒144-0041 大田区羽田空港 1-7-1 空港施設(株)第二総合ビル6F TEL. 03-3747-7535

【会社の概要】

弊社は、1924年(大正13年)に電気工事の草分けとして創業し、その後、計装、通信及び空調工事・建築内装工事と事業領域を広げ、今年11月で創業100周年を向かえる会社です。羽田空港、成田国際空港、関西国際空港等空港開港当初から、ターミナル・滑走路・整備場等関連設備、また、自動車・化学・食品・医薬品・木材・半導体関連のプラントや工場の施工実績が多数あり、新設はもとよりメンテナンス・改修工事に対応すべく、建設を担当した社員を中心に万全なアフターフォロー体制を敷いています。昨今の環境問題、再生エネルギーへの関心が高まる中、弊社は全国27ヶ所での太陽光発電システムの施工実績があります。お客様にとって最適なシステム構成の提案から施工・メンテナンスまでワンストップのサポートを行っております。



このように、弊社は、お客様の施設(電気・計装・空調

・通信)を計画段階から、建設、メンテナンス及び施設の取り壊しまで、ライフサイクル全体に渡ってお客様をサポートする総合エンジニアリングの会社です。また、様々な変化に晒されているこの時代にあつて、弊社は、失敗を恐れず冒険することをよしとし、走りながらも常に先のことを考え、チャレンジ精神旺盛な会社です。



【メッセージ】

いまだ人生の入口に立っている皆さんの前には可能性を秘めた広大な海が広がっており、皆さんのチャレンジを様々な試練を持って待ち受けていると思います。しかし、皆さんには困難を乗り越えられる可能性をもった素晴らしい力を持っているのです。皆さんが将来難しい状況に直面した時、その力を発揮できる様、日々様々な場で汗を流し、研鑽し、どんな難局に立ち向かうことが出来る、たくましい人間に成長されることを切に願って止みません。

産業界からのメッセージ 「企業会員の紹介」

東京商工会議所 常務理事 小林 治彦 (本会副会長)

〒100-0005 千代田区丸の内3-2-2 TEL: 03-3283-7500

【会社の概要】

東京商工会議所は、東京23区内の会員(商工業者)で構成される民間の総合経済団体です。1878(明治11)年に設立され、初代会頭は、新一万円札の肖像である渋沢栄一翁です。商工業の総合的な発達と社会一般の福祉の増進を目的に、3つの柱で活動しています。「経営支援活動」では、経営に関するご相談、ビジネスチャンスの創出に向けた商談会や交流会、人材採用・能力開発支援等を実施し、企業経営の改善と新たな成長に向けた挑戦をサポートしています。「政策活動」では、企業の活力強化に向けて、景況調査等の各種調査結果、ヒアリングなどで得られた企業からの生の声をもとに、国や都などの行政や政治に対して提言・要望活動を展開しています。「地域振興活動」では、観光・ビジネスの推進を始め、23区に設置された支部での活動等を通じて、地域経済を活性化するためのさまざまな活動を行っています。



【メッセージ】

東京商工会議所では、「都立専門学科高校の進路指導教員と会員企業との交流会」を年2回開催しています。専門学科高校の生徒を対象としたインターンシップ・職場体験等のキャリア教育から卒業後の採用、採用後の人材育成について、各校進路指導の先生方と会員企業の経営者・人事担当者が個別に面談し情報交換を行っています。また、「会員企業と学校法人(大学・専門学校等)との就職情報交換会」を年3回開催し、毎回多くの企業・学校法人にご参加いただくなど、双方から大変ご好評をいただいています。

23区に設置された各支部においても、地域のニーズに即した教育支援活動に取り組んでいます。具体的には、地域の学校に社会人講師を派遣する出前授業やインターンシップ・職場体験等の受入れ推進、学校や関連団体と企業との情報交換会等を開催しています。

東京商工会議所では、引き続き、教育現場と企業のニーズをつなぐ、特色ある事業を展開してまいります。

中学生・高校生の研究発表大会等を参観しました

● 第21回創造ものづくりフェア in TOKYO

11月9日(土)、板橋区立加賀中学校と女子栄養大学にて、東京都中学校技術・家庭科研究会主催の令和6年度第21回創造ものづくりフェア in TOKYOが開催されました。このフェアは、東京都内の中学校に通う生徒を対象に、技術・家庭科の学習で身に付けた、ものづくりの技や知識を競い合い、ものづくりの意義を理解するとともに、想像力を伸ばし、生きる力の育成を図ることを目的として毎年開催されています。今年度、板橋区立加賀中学校では、全国中学生創造アイデアロボットコンテスト、木工チャレンジコンテスト、豊かな生活を創るアイデアバックコンクール、生徒作品コンクールなど。女子栄養大学では、「あなたのためのおべんとうコンク

ル」が開催されました。

当日は、2会場とも多くの中学生、保護者、学校関係者などが来場し、大盛況でした。



● 第31回東京都高等学校工業科生徒研究成果発表大会

11月16日(土)、都立練馬工科高校にて、東京都立工業高等学校長会主催の令和6年度第31回東京都高等学校工業科生徒研究成果発表大会が開催されました。この大会は、工業科生徒に日ごろの研究成果を発表させ、生徒の主体性、創造性及び課題解決能力、表現力などの育成に努め、工業科相互の活動状況を理解することにより、生徒の意識高揚と学習活動の活性化を目指しています。今年度は口頭発表18、パネル発表7でした。いずれも日頃の研究や実践の積み重ねを発表する熱気に溢れた大会でした。口頭発表の最優秀賞は都立多摩科学技術高校と都立蔵前

工科高校が受賞し、東京都産業教育振興会会長賞は都立六郷工科高校が受賞しました。教育庁からは高橋秀雄都立学校教育部都立学校改革推進担当課長、長谷克己都立学校教育部ものづくり教育推進担当課長、田中智弘指導部高等学校教育指導課指導主事が審査員として参加しました。



● 第12回東京都立総合学科高等学校教育活動成果発表会

12月14日(土)、東京都教職員研修センターにて、東京都高等学校総合学科教育研究会主催の令和6年度第12回東京都立総合学科教育活動成果発表大会が開催されました。この大会は、全日制総合学科高校の生徒による教育活動の成果発表です。発表会は、可能な限り総合学科教育の特質を表すものとし、基本的には、生徒の発表会とし、必要に応じて教職員が加わるものです。今年度は10校10口頭発表でした。どの発表も素晴らしい内容のものばかりで、各学校の特色ある教

育活動が活かされていました。また、発表の際、発表内容をわかりやすく相手に伝えようと工夫されたプレゼンテーションと自信に満ちた堂々とした生徒の姿がとても印象的でした。発表会は、都立若葉総合高校の生徒による司会進行にてスムーズに進みました。



産学懇談会（第2回・第3回）

今年度の産学懇談会第2回を都立大島海洋国際高校実習船「大島丸」で、第3回を日本工学院専門学校蒲田キャンパスで開催しました。両校の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

【第2回】9月13日(金) 都立大島海洋国際高校実習船「大島丸」

伊豆大島にある都立大島海洋国際高校が運用する実習船「大島丸」を会場として開催いたしました。乗船人数の関係で午前・午後と2部に分けられ、浅野恵治校長より学校概要と特色ある取り組みについて説明していただいた後、船内見学、東京湾クルージング、懇談会となりました。参加者の方々からは、「この大島丸を通じて水産・海洋に関する学びについて理解することが出来る機会となりました。」など多く賞賛の声をいただきました。



【第3回】12月5日(木) 日本工学院専門学校

日本工学院専門学校蒲田キャンパスは、創立77年、卒業生数は約16万5千人、多彩な学科を持つ総合専門学校です。地上20F、地下1Fの3号館、4千人収容の日本工学院アリーナ、クラブハウス棟、音楽系実習棟など、充実した学習環境が整っています。

また、蒲田キャンパスでは、クリエイター、ミュージック、デザイン、IT、テクノロジーの全5カレッジに多彩な学科・コース・専攻があります。

当日は、開会式後に校内見学を行い、休憩を挿み学校紹介、懇談会となりました。



令和6年度 作文コンクール

本会主催・東京商工会議所後援「作文コンクール」の応募数が過去最多となりました。会員の皆様のご協力ありがとうございました。

	応募校	応募数
中学校の部	27 (26)	178 (139)
高等学校の部	21 (19)	155 (131)
専修学校の部	3 (2)	12 (11)

()内は昨年度の実績です。

第一次選考を経て第二次選考委員会を、中学校の部は10月24日に、高等学校・専修学校の部は10月25日に開催し、52作品の入選を決定しました。表彰式は12月20日(金)、東京商工会議所にて開催しました。なお、入選作品は入選作品集「明日に生きる」第35号に掲載いたします。

令和6年度 教育功労者表彰

教育功労者表彰は、多年にわたり東京都の産業教育に従事かつ尽力され、多くの功績をあげられた方々を表彰するものです。今年度は、高等学校12名、高等専門学校2名、専修学校1名、中学校4名の方々を表彰しました。

表彰式は11月7日(木)、全商会館にて開催しました。



事務局より

令和6年度「会報」第167号をお届けいたします。発行に際し、御協力いただきました皆様には深く感謝申し上げます。皆様からの御感想、御意見などをお寄せください。

発行



東京都産業教育振興会

住所

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
東京都教育庁都立学校教育部
高等学校教育課内

電話

03-5320-6729

ホームページ

<https://www.tosanshin.org/>

印刷

教育庁サポートオフィス



教育庁サポートオフィス

パレット